

NVIDIA Alpamayo



「推論」が切り拓く自動運転の次世代基盤

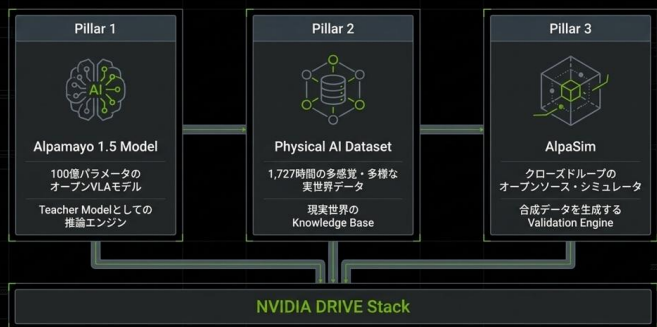
NVIDIA Alpamayo が牽引する AX時代のR&D戦略

次世代モビリティ開発を加速するHPC基盤の最適解



レベル4自動運転を実現する3つの柱：Alpamayoエコシステム

単なるモデルの提供ではなく、インフラからシミュレーションまでを包括するオープンな開発基盤。



自動運転システムの開発は、従来のルールベースやモジュール式のアプローチから、AIが状況を統合的に理解し判断を下すエンドツーエンドの「AX（AI Transformation）」環境へと移行しています。NVIDIAが提供する「Alpamayo」「AlpaSim」「NuRec」は、安全性と説明可能性を両立したレベル4自動運転の社会実装に向けた最新のエコシステムです。

NVIDIAの自動運転AI基盤「Alpamayo（アルパマヨ）」は、従来のパターン認識に依存した自動運転から脱却し、AIが人間のように「推論（考えて判断）」する仕組みを取り入れることで、安全性と信頼性を劇的に高めています。

大規模推論モデルを支える高密度演算リソース

Alpamayo（VLAモデル）は、映像入力から車両の軌道と「なぜその判断をしたのか」という推論の論理を同時に出力します。この大規模モデルの継続的なファインチューニングや、車載用の小規模エッジモデルへの蒸留（Distillation）には、極めて高い演算能力が必要です。最新のGPUを搭載し、ノード間を広帯域・低遅延なネットワークで結合した分散学習に最適化されたHPC環境が求められます。

NVIDIA Alpamayo 開発環境に最適なHPC

アプライド製ワークステーション CERVO-Ryzen カスタマイズ



<https://mfrdx.applied-g.com/>

または

アプライド製工業・研究開発DX

検索

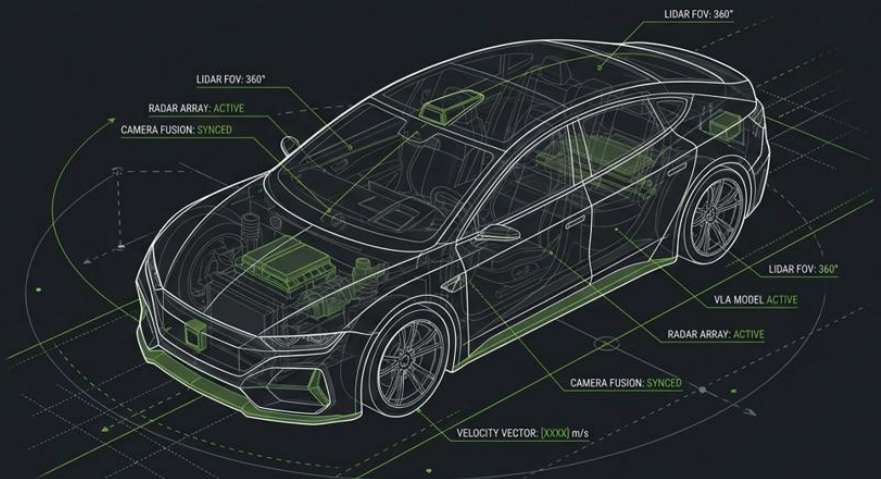


NVIDIA

Alpamayo



× ソフトウェアの快適な動作に
お勧めのワークステーション



高性能CPUとGPUの構成が NVIDIA Alpamayo
開発の高精度 効率的な計算に最適

RTX PRO 6000 Blackwell
搭載モデル



最新CPU AMD Ryzen™
Threadripper™ PRO 9965WX搭載

Workstation 用途の設計に開発されたエン
ベデッド プロセッサ エンジニアリン
グシミュレーションに最適



RTX PRO 6000 Blackwell 搭載

Blackwellアーキテクチャ採用 RTX
PRO 6000 Max-Q プロフェッショナル
ワークフローの課題に対応する機能



NVIDIA Alpamayo 開発環境 推奨モデル スペック

- システム : Ubuntu 24.04 LTS インストール代行 + フレームワーク環境設定
- CPU : AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 9965WX
(4.2-5.4GHz/24C/48T/128MB L3 Cache/350W)
- メモリ : 128GB (32GB×4) DDR5-5600 Registered ECC DIMM
- SSD : 2TB (M.2 NVMe PCIe 4.0)
- GPU : NVIDIA® RTX™ PRO 6000 Blackwell Max-Q Workstation Edition 96GB-GDDR7
- 電源 : 1200W/100V 80PLUS Platinum認証 (ATX3.1)
- 保証 : 3年間 センドバックハードウェア保証

上記仕様からカスタマイズも承ります。メモリ・ストレージの増設やグラフィックボード・OSの変更、また冷却性や耐久性が高い部品へのアップグレードも可能です。

NVIDIA Alpamayo 開発環境に最適なHPC

アプライド製ワークステーション CERVO-Ryzen カスタマイズ

想定売価

価格は販売店にお問い合わせください